がん研究会　情報公開文書

単施設研究用

IRB番号「2025-GB-127」

研究課題名「四肢体幹発生の悪性軟部腫瘍の広範切除術後、浅腹壁axial pattern皮弁による同時再建術の後ろ向き観察研究

」

１．研究の対象

2018年1月1日から2025年12月31日までに、がん研有明病院形成外科において下腹部・鼠径（そけい）部をドナーとする遊離皮弁を用いた再建術を行った患者さんのうち、以下の基準をすべて満たす方を研究対象者とします 。
選択基準： 1）四肢または体幹に発生した悪性軟部腫瘍の広範切除後の欠損に対し、同時再建術が行われた方 。 2）血管柄として、浅下腹壁動脈（SIEA）、浅腸骨回旋動脈浅枝（sSCIA）、または浅腸骨回旋動脈深枝（dSCIA）を用いた遊離皮弁移植術（SIEA皮弁またはSCIP皮弁）が施行された方 。

２．研究の目的・方法

四肢・体幹に発生した悪性軟部腫瘍の広範切除後の欠損に対し、超高周波超音波（UHF-US）を用いた術前計画に基づく「浅腹壁axial pattern皮弁（SAX flap）」による同時再建術の臨床成績を調査し、その有用性と安全性を検討します 。対象期間内にがん研有明病院形成外科にて当該手術を受けた患者さんの診療録より、以下の項目情報を抽出します 。1）臨床所見： 年齢、性別、身長、体重（BMI）、既往歴（糖尿病、喫煙歴）、腫瘍の局在および組織型 。 2）手術関連所見： 手術体位、欠損サイズ、皮弁サイズ（長径、短径、面積）、血管解剖の詳細（SIEA、sSCIA、dSCIA等の動脈および還流静脈の種類）、微小血管吻合数、全手術時間、出血量 。 3）画像診断所見： 超高周波超音波（UHF-US）による術前血管マッピングの記録および画像データ 。 4）経過および予後： 入院期間、術後合併症（皮弁全壊死、部分壊死、血腫、感染、創部離開）、ドナーサイト合併症、血流不全疑い等による再手術（takeback）の有無とその転帰 。

３．研究期間

承認日　～　2026年12月31日

４．研究に用いる試料・情報の種類

本研究に用いる下記の試料・情報につきましては、倫理審査員会の承認を受けた研究計画書に従い、個人が特定されないように適切に匿名化処理を行った上で取り扱っています。
情報：1）臨床所見：年齢、性別、身長、体重（BMI）、既往歴（糖尿病、喫煙歴）、腫瘍の局在および組織型 。 2）手術関連所見：手術体位、欠損サイズ、皮弁サイズ（長径、短径、面積）、血管解剖の詳細（SIEA、sSCIA、dSCIA等の動脈および還流静脈の種類）、微小血管吻合数、全手術時間、出血量 。 3）画像診断所見：超高周波超音波（UHF-US）による術前血管マッピングの記録および画像データ 。 4）経過および予後：入院期間、術後合併症（皮弁全壊死、部分壊死、血腫、感染、創部離開）、ドナーサイト合併症、血流不全疑い等による再手術（takeback）の有無とその転帰 。
試料：なし

お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。
また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

がん研究会　情報公開文書

単施設研究用

公益財団法人　がん研究会有明病院
〒135-8550東京都江東区有明三丁目8番31号
研究責任者　形成外科　医長　辛川 領
連絡先：電話番号03-3520-0111(代表)　FAX番号03-3520-0141